



〈9月6日 虫取りをしたよ（黒崎公民館）〉

生活科の学習で、虫取りをしに黒崎公民館に行きました。公民館の側は草地があり、活動に最適でした。

子どもたちはそれぞれ木に近づいたり、草が生い茂っているところに行ったりして、「どんな虫がどなところにいるのか」を考えながら虫を探ることができました。活動後は、それぞれの生き物のすみ分けを意識しながら、虫かごの中にバッタやトンボ、テントウムシ、カマキリ、カニを入れて、学校に持って帰りました。

授業後に振り返りをすると、「もっと虫について詳しく知りたい」や「次は虫のお家をつくって飼ってみたい」という発言がありました。生き物に愛着をもち、さらに自分から関わろうとする態度が育ったようです。生活科の学習を通して、身の回りの生き物との関わりをさらに深めていきます。また、生き物を育んだ地域の自然への親しみも大切にしていきたいと思います。



〈9月24日 秋探しをしたよ〉

生活科の学習で、秋探しをしました。まだまだ暑さが残る中ですが、子どもたちは校庭に松ぼっくりや枯れ葉などが落ちているのを見つけ、夏から秋への確かな移り変わりに気が付きました。その後、子どもたちは、松の細い葉を使って友達と遊んだり、たくさん落ちている枯れ葉を踏んで音を聞いたりしていました。子どもたちは、このような秋を感じる活動を通して、楽しみながら自然に親しむことができました。

今後は見つけた秋の自然物を使って、遊びや遊びに使うものを作ります。秋ならではの面白さを感じながら、子どもたちの「もっとこんな遊びがしたい」「秋っていいな」という思いを引き出していきます。